



小さな努力を積み重ねると...

新しい年の始まりは、誰もが、物事の取組への新たな期待とともに、挑戦への意欲が高まります。そこで、三学期の始業式では、メジャーリーグで大活躍されている大谷翔平選手を紹介しながら、目標に向かって努力することについて話しました。

大谷選手は、高校生の時にプロ野球に入るという目標を立て、その実現のために必要なことをハーマスのシートに書き出したといいます。そこには、「スタミナ」や「コントロール」、「スピード一六〇km」といった体づくりや技術的なことだけでなく、「ゴミ拾い」や「挨拶」、「礼儀」といった人として大切にしなければならぬことも含まれていたそうです。メジャーでの試合中に、大谷選手がさりげなくゴミを回収する姿は、全米でも話題を集めました。自分の目標に向かって、できつつある努力を積み重ね、夢を実現させた素晴らしい選手だと思います。

今、学校玄関には、大谷選手の写真とともに、次の言葉を掲示しています。

目標に向かって努力をしよう  
小さな努力を続ければ、  
大きな努力ができる人になれる  
大きな努力は、  
大きな夢を  
実現することができます



目標が達成された時、喜びや自信を味わうことができます。努力してうまくいかなかったとしても、諦めずに取り組んだという満足感は、次の挑戦への意欲につながります。

努力は才能だという人もいます。全ての人が自分の夢を実現できるわけではないかもしれませんが、小さな努力を積み重ねる経験は、将来きつと自分の夢を叶えるための大きな力につながっていきます。

「自分の夢に向かって挑戦している」、子供達一人一人の将来に、そんな姿を期待しています。

ビブリオバトル開催

一月十七日(火)、朝の会で図書部によるビブリオバトルがオンラインで開催されました。ビブリオバトルは書評合戦とも言われ、発表者が読んで面白かった本をそれぞれプレゼンします。観客は、発表を聞いて「どの本が読みたくなったか」を基準に投票を行います、最多票を集めた本がチャンプ本となります。

今回は、低、中、高学年別に、図書部員が二冊ずつプレゼンしてくれました。投票結果は後日発表されるそうです。チャンプ本でも、そうでなくても、今紹介してくれた本をぜひ手にとってほしいと思います。



おすすめ！「大根ステーキ」

学校の畑では、去年の秋に植えた大根が連日大収穫です。学びの教室では、収穫した大根を使って「大根ステーキ」の調理をしていました。お味は「最高！」とのことで、収穫への喜びと自然の恵みに感謝しながら、おいしくいただけましたようです。

「大根ステーキ」、「ご家庭で、お子さんと一緒に作ってみてはどうでしょうか。」



「みんなで8の字跳び」にチャレンジ

一月十二日(木)の体育集会で、長なわを使って、学年別に「三分間で『8の字跳び』が何回できるか」に挑戦しました。最高は、五年生の百六十回。

「8の字跳び」は、「きのくにチャレンジランキング」というHPから、県内の小学校の記録を閲覧することができます。調べてみると、二四三回や三一一回という、とんでもない数字が並んでいました。次回の集会で、どこまでこの数字に迫れるのか、楽しみます。

